

毎年必ずずつ・・・

岡本 ぬい

○兵庫県朝来市に魚が滝という川があり、その川に毎年夏に行く。その川は岩があつて低いところから高いところまである。私は毎年少しずつ高い岩にいき最後はすごい高く五メートルぐらいある。その川では、流れがあり、ジャンプすると自動的に陸の方へ流れ、いく、それがすごく楽しくていつでも行きたくなる。そこでは、2、3日キャンプをする。夜は、バーベキューなどをしてねる。次の日、川が楽しいので早く起きて朝一で、たても・・・その川へほかの川もしはすごく寒い。でもすごく楽しいから入る。しばらくすると、やはり寒くて日が当たっている岩で休んで温まる。一休みして温たまったらまた入る。しかし、温たまったら体を冷たい水に入れると寒くてあまり入れない。たつと川

ジャンプをしたいので、川に入る。たつとま

た寒くな、たので日が当た、た岩へ行くとい
うくり返して出たり入、たりしている。その
ようなことを全部あわせてすごく楽しい。
私か川へ行、の感想は、楽しいもそうだけ
ど、社会で習、たように日本の川は短かくて
急なのたな^あと思ひました。なせなら、ジ
ンとした時にすぐに流れていくというのと、滝
みたいなのがありその滝のようなものかすご
く短く急なので短く急なのたな^あと思ひまし
た。今年の夏は兵庫県にはいりないけれど来

年は必ず行きにいます。